

(論文)

氏名 西山忠邦

課題「現在の区行政の課題と、その解決策について」

区役所の職責は大きく二つの側面を持つと考えます。

一つは基礎的自治体の執行機関として、法令等に定められた自治行政の執行を、公正かつ適時適切に実施をする、まさに国・地方を含めた行政の第一線の役割を担うことであります。

もう一つの側面は、地域社会の担い手としての立場です。これは、地域社会を自主・自律的に運営する主体の一つとして、まさに市民とともに担い手として地域協働に参画する立場であります。

かつては、ともすれば前者の側面が重要視されてきた時代があり、「役所は決まり事を押し付けるところ」といったイメージがありました。その名残は、今も根強く残っている場面が見受けられます。

近年、地域社会や自治体をとりまく情勢も大きく変化し、社会ニーズや市民生活の多様性、経済情勢の変化などによる財政状況の悪化などで、区役所と地域の関係も変わらざるを得なくなっていました。

住民でできることは住民自らが、地域でできることは地域で、行政は一つのパートナーとして、共に考え協働し、また支援をしながら、自律した住民自治の確立が目指すべき姿となっています。

大阪市においては、市政改革の一環として「ニアイズベター」の考え方のもと、「大きな公共を担う活力ある地域社会づくり」と「自律した自治体型の区政運営」に向けて、多様な活動主体が参画して地域課題に取り組む地域活動協議会の形成や財政的な支援、住民に身近なところで区長が自律的な基礎自治行政を行うための権限と財源の大幅な移譲など、様々な仕組みづくりを行ってきました。

「大きな公共を担う活力ある地域社会づくり」については、地域活動協議会の形成支援を進め、ほぼ全地域で形成されている状況にあり、様々な活動主体の参画のもと自律的に地域のまちづくりを推進するための基盤となるプラットホームは整ってきたといえます。このことにより、地域の実情や特性に応じた活動を地域自らが企画し、選択して、自発的に行えるような体制、補助制度なども整備されています。

しかしながら、すべての地域活動協議会に参画する活動主体が、必ずしもまとまって連携できているとはいはず、地域によっては、依然として地域振興会がその活動の主体となっているものや、離散集合を繰り返しているものも見受けられます。

また、地域の見守りや防災活動など、福祉・安心・安全といった身近な課題への対応などを通して、旧来の枠組みを超えた人と人とのつながりづくり、コミュニティ活動に取り組んでいる地域も見られています。

これまで、地域活動協議会の形成や、その活動支援を中心に地域への支援を行ってきたこ

とにより、より身近な活動単位としての自治会・町内会単位の活動への支援がおろそかにならぎちであったともいえます。とりわけ、若い世代、現役世代、マンション住人など、これまで地域活動とのかかわりが薄かった層とのつながりが、依然として希薄であるといえます。

そのため、今後取り組むべき課題としては、市民、NPO、企業など様々な活動主体の地域活動協議会への参画の推進、広く市民に向けた地域活動への理解促進などに取り組み、地域活動の担い手のすそ野を広げ、真に自立した地位活動主体を形成する必要があります。

具体的には、区役所による、地域活動協議会やその活動内容を広く市民に周知するための、電子媒体なども活用した情報発信など、わかりやすい広報の強化。見回り活動や、防災など住民に身近で必要な活動を通じたふれあい・つながりづくり、ひいては自治会・町内会への参加促進。中間支援組織を活用した、地域活動協議会間の情報共有や、PR活動などに効果的かつ積極的に取り組む必要があります。

地域の祭りやイベントなど人が集まる場を通じて、マンション住民や若い世代への情報発信、より幅広い人と人とのつながりづくりを一層支援し、身近な地域での生活課題などを共有できる地域コミュニティーの形成、活性化を進めていくことが重要です。

そのためには、区役所が中心となって、中間支援組織なども活用しながら、地域振興会など既存の活動団体やマンション等の自治会、地域住民など様々な層の住民とをつなげ、真に支え合う人と人とのつながりづくりを促進し、相互に理解し信頼し合いながら地域課題に取り組む意識を広く地域住民の間に醸成すべきであります。

その活動基盤として、住民が集い合うプラットホームとしての開かれた地域活動協議会となるよう、その発展に向けた活動支援を行うことで、住民主体の自律的な地域運営が進められる地域社会づくりにつながるものと考えます。

今、区役所として果たすべき役割は、地域の課題を自らのこととしてとらえ、多様な活動主体が、自らの地域のことは自らの地域が決めるといった意識をもって、地域の課題の解消に取り組む自律した活動が進められるような環境づくりとひとつづくり、まちづくりを進めることであります。